

業績ハイライト — 決算のポイント 引き続き、健全経営に努めてまいります

平成22年3月期は、債券関係損益が大幅に改善したことで、業務粗利益は前期比98億円の増益となりました。一方経費も人件費や物件費を中心に同15億円減少し、一般貸倒引当金繰入額も同10億円減少したことから、業務純益は同124億円の増益となりました。

一方、金融危機に伴う保有債券や株式の償却、減損等の影響がなくなったことから、経常利益は68億円（前期比257億円の増益）、当期純利益も39億円（同205億円の増益）と、いずれも黒字を回復することができました。

（単位：億円）

	平成21年3月期	平成22年3月期	前期比
業務粗利益	566	664	98
資金利益	568	557	-10
役務取引等利益	65	60	-4
その他業務利益	-66	47	114
うち債券関係損益	-63	41	104
経費 (△)	460	445	-15
一般貸倒引当金繰入額① (△)	17	7	-10
業務純益	88	212	124
臨時損益	-277	-143	133
うち不良債権処理額② (△)	114	140	25
経常利益	-188	68	257
特別損益	-2	9	11
うち偶発損失引当金戻入益③	-	7	7
当期純利益	-166	39	205
与信コスト (①+②-③)	132	140	7